

報道関係各位
プレスリリース

2022 年 5 月 24 日
一般社団法人日本医療福祉設備協会

病院設備の設計・管理の日本で唯一のガイドラインである「病院設備設計ガイドライン（空調設備編）HEAS-02-2022 が、5 月 30 日に発売！
病院設備を使用する学術集団と病院の建築・設備を設計する学術集団が連携して取りまとめた「科学的かつ公正なガイドライン」である。
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する最新知見に基づく対策も掲載。

本ガイドラインは、1989 年の初版発行以来 30 年間にわたり設計・管理のガイドラインとして医療福祉施設の空調設備に貢献してきました。2013 年の前回の改訂（※1）から 9 年が経過し、新型コロナウイルス感染症対策など、新たな知見を取り込んだガイドラインへの改訂が求められていました。

今回の改訂では、委員長に堀賢教授（順天堂大学大学院）を迎えるなど、5 回目の改訂で初めて他の学協会（※2）と連携したマルチソサイエティガイドラインとして生まれ変わりました。また、厚生労働省からもオブザーバーとして参加をしていただきました。

本書の特徴（抜粋）は以下の通りです。

- ・推奨項目ごとに「推奨の強さとエビデンスの質」を明示した。
推奨の強さは、強い推奨、弱い推奨、未解決の事項に分類、エビデンスの質は、高い、中等度、低い、非常に低いとした。
- ・改修工事の内容と工事場所からリスクを分析して対策を実施する感染管理リスクアセスメント（ICRA）を記述した。
- ・COVID-19 については、1－2 年ごとにアップデートすることで、世界の潮流を積極的に取り込んでいけるように Appendix に記述した。

書籍概要

書名 : 一般社団法人日本医療福祉設備協会規格
病院設備設計ガイドライン（空調設備編）HEAS-02-2022
発行者 : 一般社団法人日本医療福祉設備協会 会長 安原 洋
定価 : 5500 円（税込）
発売日 : 2022 年 5 月 30 日
ページ数 : 158 ページ
仕様 : A4 サイズ、白黒
ISBN : 978-4-9912612-0-6

発行元 : 一般社団法人日本医療福祉設備協会

URL : <https://www.heaj.org/book/book.html>

目次

1. 概要
 2. 医療施設の感染対策
 3. 室内環境
 4. 部門別設計指針
 5. 空調方式・機器
 6. 運転・保守
 7. 省エネルギー
 8. 災害対策
 9. 課題と対策
- Appendix A 微細な飛沫やエアロゾルを介した伝播様式と対策
- Appendix B COVID-19 対応のために実施された運転管理の事例

協会概要

名称 : 一般社団法人日本医療福祉設備協会

会長 : 安原 洋

所在地 : 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目39番15号 医科器械会館3階

設立 : 1953年

目的 : 医療、福祉および保健に関する設備・機器の研究、改善ならびに普及を図ること

URL : <https://www.heaj.org/>

※1: これまでの発行・改訂

初版: 1989年発行 (委員長: 井上 宇市)

第2版: 1998年発行 (委員長: 石福 昭)

第3版: 2004年発行 (委員長: 大久保 憲)

第4版: 2013年発行 (主査: 鈴木 明文)

第5版: 2022年発行 (委員長: 堀 賢): 今回の改訂

※2: 委員を派遣していただいた学協会 (順不同)

病院設備を使用する学術集団: 一般社団法人日本環境感染学会、一般社団法人日本救急医学会、日本手術医学会

病院の建築・設備を設計する学術集団: 公益社団法人空気調和・衛生工学会、一般社団法人日本医療福祉建築協会、公益社団法人日本空気清浄協会

一般社団法人日本医療福祉設備協会規格

病院設備設計 ガイドライン (空調設備編)

病院空調設備の設計・管理指針

Hospital Facilities Design Guidelines (Air conditioning volume)

HEAS-02-2022



一般社団法人

日本医療福祉設備協会

「病院設備設計ガイドライン（空調設備編）HEAS-02-2022」表紙

病院設備設計ガイドライン
(空調設備編) (HEAS-02-2022)

— 目 次 —

1. 概要	4.3 病棟部門	40
1.1 病院	4.4 検査部門	45
1.2 病院建築の概要と空調設備	4.5 放射線画像診断・治療部門	47
1.3 空調設備と建築計画との接点	4.6 手術部門	49
2. 医療施設の感染対策	4.7 周産期部門	51
2.1 医療施設の感染対策と空調	4.8 リハビリテーション部門	51
2.2 医療現場に必要な感染対策	4.9 薬剤部門	52
2.3 空気感染防止への配慮	4.10 栄養部門・特殊診療部門・供給部門	52
2.4 感染管理リスクアセスメント (ICRA:Infection control risk assessment)	5. 空調方式・機器	
	5.1 基本方針	67
3. 室内環境	5.2 熱源機器	70
3.1 清浄度クラス	5.3 空調・換気機器	70
3.2 空気質	5.4 エアフィルタ	78
3.3 温湿度	5.5 ダクト系	81
3.4 騒音・振動	5.6 配管系	82
4. 部門別設計指針	5.7 自動制御設備	83
4.1 外来診療部門	5.8 機械排煙設備	83
4.2 救急診療部門		

6. 運転・保守	9.2 感染管理リスクアセスメント (ICRA) の対応	125
6.1 基本方針	Appendix A	
6.2 日常運転	微細な飛沫やエアロゾルを介した 伝播様式と対策	130
6.3 定期保守点検	Appendix B	
6.4 設備更新	COVID-19対応のために実施された 運転管理の事例	133
6.5 設計・施工への参加	〈資料編〉	
7. 省エネルギー	1. 用語の定義 (五十音順)	139
7.1 基本方針	2. 参考資料	145
7.2 建築計画による省エネルギー	3. 参考文献	157
7.3 設備計画による省エネルギー		
7.4 運用における省エネルギー		
7.5 省エネルギーの法関連について		
8. 災害対策		
8.1 基本方針		
8.2 火災対策		
9. 課題と対策		
9.1 結露対策		